

事務事業評価表

1. 基本事項 作成日 令和08年06月05日(金)

事務事業		生活道路整備事業		担当課	道路河川課	担当係	生活道路整備係	管理番号	49111	
総合計画	大項目	5	快適で利便性の高いまち	事業区分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務					
	中項目	2	交通アクセスの便利なまちづくり	根拠法令 個別計画等	道路法、深谷市生活道路整備の事業実施に関する要綱					
	小項目	1	道路・交通環境整備の推進							
	主要プロジェクト									
事業概要		生活道路の整備により快適かつ安全な環境を実現するため、自治会からの要望に基づき狭隘道路や未舗装、未改良区間の整備を行う。								
目的 ※何のために		緊急時や災害時の緊急車両の通行を可能にするとともに、住民の通行時の安全性を確保するため。								
対象 ※誰・何を対象に		狭隘道路や未舗装、未改良区間の道路。								
手段 ※どのように		自治会からの要望や優先順位を踏まえ、事業効果や必要性等の評価結果に基づき、地域バランスにも配慮し事業箇所を選定する。								
成果 ※何を求めるか		良好な居住環境の整備が図れる。								
執行体制		☒ 職員 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 市民ボランティア ☐ NPO等 ☐ その他()								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)		
		一般会計	8	土木費	2	道路橋りょう費	2	道路新設改良費	道路新設改良事業	551,954,703
本事業の 主な業務		・生活道路整備要望の調整業務					・			
		・生活道路の整備					・			
		・関係機関との調整業務					・			
		・測量設計、物件調査業務					・			
		・					・			
		・					・			

2. 事業費(投入コスト) ※令和7年度は決算見込み額です。 単位: 円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
年度別計画		・工事の実施・測量、調査、設計ほか	・工事の実施・測量、調査、設計ほか	・工事の実施・測量、調査、設計ほか	・工事の実施・測量、調査、設計ほか	・工事の実施・測量、調査、設計ほか		
事業費	予算（現額）	436,315,000	471,168,000	621,439,000	663,978,000	531,833,000		
	決算額	343,666,689	410,732,383	443,803,440	551,954,703	0		
	財源内訳	国支出金	24,631,000	23,114,000	27,296,000	33,987,000	9,307,000	
		県支出金	0	10,993,400	0	0	0	
		地方債	22,000,000	20,600,000	24,300,000	42,400,000	8,300,000	
		他特定財源	0	0	0	0	0	
		一般財源	297,035,689	356,024,983	392,207,440	475,567,703	514,226,000	
人件費	従事職員数（人）	6.67	6.67	6.37	6.41	6.41		
人件費相当試算※	52,489,946	53,427,801	52,375,676	54,338,173	56,462,414			
総事業費試算		396,156,635	464,160,184	496,179,116	606,292,876	588,295,414		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	生活道路整備要望数	目標値	件							
		実績値		47.00	23.00	30.00	31.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		自治会からの要望のため、目標値は設定しない/当該年度の実績							
	実績値の算出式									
活動指標 2	道路改良工事施工延長（道路新設改良事業）	目標値	m	1,104.00	2,132.00	1,002.00	1,550.00			
		実績値		1,086.00	1,910.00	1,025.00	1,512.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		予算から算出した工事延長。 / 当該年度の実績（発注済延長）							
	実績値の算出式									
活動指標 3	舗装新設工事施工延長（道路新設改良事業）	目標値	m	440.70	950.00	604.20	497.10			
		実績値		489.00	292.50	405.00	1,021.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		予算から算出した工事延長。 / 当該年度の実績（発注済延長）							
	実績値の算出式									
成果指標 1	整備要望への対応率	目標値	%							
		実績値		36.00	61.00	60.00	74.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		整備要望数に左右されるため、目標値設定になじまない / 新規着手箇所数及び舗装新設箇所							
	実績値の算出式									
成果指標 2	生活道路改良率	目標値	%	35.33	34.36	34.48	34.60	34.72	34.84	
		実績値		34.24	34.33	34.44	34.49			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		過去5年間の伸び率の平均値を加算 / 道路台帳（その他道路改良率）							
	実績値の算出式									
成果指標 3	生活道路舗装率	目標値	%	71.02	68.77	68.81	68.85	68.89	68.93	
		実績値		68.73	68.88	68.93	68.99			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		過去5年間の伸び率の平均値を加算 / 道路台帳（その他道路舗装率）							
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
 （評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	建設資材の高騰により、道路改良工事延長については目標値を下回ったが、年度後半に発注する舗装新設工事については、請負残などの予算を活用し工事延長の確保に努めたことにより目標値を大きく上回ることができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	本成果指標は活動指標と完全に連動する指標となっており、生活道路改良率については、道路改良延長が短くなったため目標値を下回った。一方、生活道路舗装率は舗装工事延長が長くなったため、目標値を上回った。
			評価者 生活道路整備係長 新井 孝法

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 （評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	実施した工事の中で、請負業者が情報共有システムで対応可能な現場については活用し、移動時間の縮減や打合せ記録のペーパーレス化を進め、業務の効率化を図ることができた。
			評価者 生活道路整備係長 新井 孝法